西 尾 市 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 日 時	令和８年１０月１４日（水）　午後４時００分		
開 会 場 所	西尾市役所　４１会議室		
開 会 時 間	午前４時００分	閉 会 時 間	午後４時４５分
教 育 長	稲垣　寿		
出 席 委 員	藤井遼太郎　　石崎光子　　野田順子　　佐々木真哉		
欠 席 委 員	－		
委員会出席者	教育部長　菅沼律哉、教育部次長兼図書館長　犬塚佐重喜、教育庶務課長　今泉 薫、学校教育課長　浅岡秀雄、学校教育課主幹　山﨑章宏、学校教育課主幹　江坂由紀、生涯学習課長兼生涯学習センター整備推進室長　澤 雅、文化財課長　林 知左子、観光文化振興課長　蛭川洋行、教育庶務課課長補佐　平井 修、教育庶務課主査　水野文子　（欠席者：交流共創部長　髙須清和、スポーツ振興課長　宮嶋徹夫　）		
議 題	１　会議録署名委員の指名について ２　前回会議録の承認について ３　報告事項 （１）教育長報告 （２）教育部長報告 ４　その他 （１）令和９年度教職員定期人事異動方針について【学校教育課】 （２）尾﨑士郎記念館特別展「尾﨑士郎と宇野千代―ふたりの“人生劇場”馬込篇―」の開催について【文化財課】 （３）第２１回にしお本まつりの開催について【文化財課】 添付書類　　教育委員会名義使用１６件		

会　議　の　顛　末

教育長	開会の辞 ただいまから西尾市教育委員会１０月定例会を開会いたします。 議事に入る前に、佐々木委員が１０月１日付けで教育委員に就任されましたので、一言ごあいさつをいただきたいと思います。
佐々木委員	（あいさつ）
教育長	それでは、議事進行は、あらかじめ配布されております、会議日程に基づいて進めさせていただきます。
	１　会議録署名委員の指名
教育長	会議録の署名委員は、野田委員、佐々木委員 を指名します。
	２　前回会議録の承認
教育長	前回定例会の会議録については、すでに委員の皆様方のお手元に送付してございますが、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。 承認してもよろしい方は、挙手をお願いします。 （挙手　全員） 挙手全員であります。前回定例会の会議録については、原案どおり承認することにいたします。
	３　報告事項
教育長	（１）教育長報告 ２学期が佳境に入っています。学校訪問も再開しましたが、いくつかの学校で、学校経営の刷新や授業改善が奏功しており、教職員集団の勢いも窺われました。また、幡豆中の花火、西中のマスコットと、アントレプレナーシップ事業の成果も着々と上がってきています。 昨今の新聞やテレビの報道には、ジャーナリズム本来の公共性が危うくなっているように感じられることがあります。インターネットの普及に迫られて、販売部数や視聴率を重視するせいでしょうか。個人的には、人々の幸福に寄与しないニュースの価値を疑っていますが、学校教育に関するネガティブな報道は、現代社会に不満を抱える人たちのバッシングの対象としては好都合らしく、安易に取り上げられ、残念な惨状が見られます。そこでは、教師の言葉は説得力を減じるばかりです。しかしそれでも、教育は一期一会の営みです。目の前の子どもたちにとっては、学校生活の今は一度しかありません。教師たちは、これまで以上に心を砕いて、子どものことを思い、学校の信頼感を維持していかなくてはなりません。月初めの教頭会では、以下の三点についてお願いしました。 １　人との出会いを大切にすること ① 教育は信用商売　※武田節「情は味方　仇は敵」 ② 辛い出会いこそ相手意識で慎重に ③ ピンチの時ほど、ゆっくりと、守る順番を確かめる ２　明るい発信をすること　（暗黒のフォースに負けないために） ① 学校行事や児童会生徒会行事 ② アントレプレナーシップ事業 ③ その他さまざまな子どもたちの活躍 ３　常に校内全体を把握し、先を見通して、円滑な学校運営を司ること

	① 教職員一人一人の表情を捉える ② その場しのぎの対応は、後々に大きなトラブルにつながる ③ バタバタしたら次年度の計画を改善しておく
教育長	続きまして（２）教育部長報告をお願いします。
教育部長	私からは、市長と語る市政懇談会について、ご報告させていただきます。 市政懇談会は、まちづくり全般について、市民と市長が直接対話することにより、市民の市政参加へのきっかけを作るとともに、市民の意見や提案等を今後の市政運営に活かしていく。また、意見交換を行うことでお互いの意思疎通を図り、未来に向け持続可能な地域づくりを共に考え、行動するまちづくりを推進することを目的としています。 開催地区は、小学校区単位を基本に、市全体を１６地区に分けて、４年間で市内全地区にて開催するもので、今年度は４地区での開催を計画し、既に７月２３日の寺津小学校区、８月７日の鶴城小学校区で実施しています。 市政懇談会では、教育委員会関係として「京都府南丹市の男児殺害事件の捜査において防犯カメラ映像が使用されたことに対して、鶴城小学校区の教育施設の防犯カメラは、不足なく設置されているか。」との趣旨の質問がされました。 これに対し、「鶴城小学校は令和７年度に、鶴城中学校は令和４年度に各４台の防犯カメラ設置が完了。また、愛知県に確認したところ、愛知県立高等学校全校に令和８年度から３年かけて設置する計画で、西尾高等学校・附属中学校は３台、鶴城丘高等学校は２台設置予定と聞いている。市内の公民館・地域交流センターは、全１２館中４館で防犯カメラを設置している。」との趣旨の回答を申し上げました。 この他、コミュニティスクールの導入とコミュニティ活動について、ご意見を伺いました。 教育に対しては、市民の皆さんの関心が高いところであります。教育行政の現状を理解していただけるよう、丁寧な回答に努めてまいります。 今後、西尾小学校区を対象に１０月１６日（金）に、にししん文化会館茶々っとホール創作室Ｂで、荻原・吉田・白浜小学校区を対象に１１月１１日（水）に、きら市民交流センター多目的ホールで、どちらも午後６時３０分から開催されます。 私からは以上です。
教育長	日程３を終わります。 日程４、その他を議題とします。（１）令和９年度教職員定期人事異動方針について、説明をお願いします。
学校教育課長	ただいま議題となりました、その他議題（１）令和９年度教職員定期人事異動方針について、ご説明申し上げます。資料１ページをご覧ください。 西尾市の教職員定期人事異動方針でございますが、正規の小中学校等教職員は、県費負担の職員でありますので、本方針につきましても、県教委の方針を受けて、西尾市教育委員会が示すものであります。 ２ページの県の方針をご覧ください。昨年度に引き続き、今年度も変更はありませんでした。 １ページにお戻りください。本市といたしましては、昨年度に引き続き、４番に、特別支援教育だけでなく、市の特徴である「へき地教育」、「外国人児童生徒教育」の一層の充実という文言を入れた形の方針で進めてまいりたいと考えております。

	３ページは、事務職員の人事異動方針でございます。事務職員につきましては、市との協議の上、県が直接人事異動を行いますので、県の方針を各学校に通知してまいります。 以上、その他議題（１）の説明とさせていただきます。
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
教育長	特に質問がないようですので、続きまして、（２）尾﨑士郎記念館特別展「尾﨑士郎と宇野千代－ふたりの“人生劇場”馬込篇－」の開催について、説明をお願いします。
文化財課長	資料４ページ、その他議題（２）資料およびちらしをご覧ください。 尾﨑士郎記念館では、特別展「尾﨑士郎と宇野千代－ふたりの“人生劇場”馬込篇－」を令和９年１２月５日まで開催しています。９月２８日から放送が始まったNHK 連続テレビ小説「ブラッサム」の主人公・葉野 珠（キャスト：石橋 静河）のモデルである宇野千代と、主人公と切磋琢磨する新進気鋭の作家・西尾 一路（キャスト：染谷将太）のモデルである尾﨑士郎に焦点を当てた展示です。 西尾市吉良町出身の小説家で、長編小説『人生劇場』で一世を風靡した尾﨑士郎と、９８年の生涯において小説家や着物デザイナーなど多彩な活躍をした宇野千代は、結婚して共に暮らしていた時期がありました。ふたりが居住していたのは、現在の東京都大田区大森・馬込・池上周辺にあたる、通称“馬込文士村”と呼ばれる地です。大正末期から昭和初期にかけて、多くの作家や芸術家が集まって居住し、ふたりはその中心人物として、作家仲間たちとの日々を彩りました。 本展では、尾﨑士郎と宇野千代、その周辺の人々の著作・エッセイや当時の写真などを通して、生涯４度の結婚をした宇野千代が「いちばん好きだった」という尾﨑士郎との日々に迫ります。 皆さまのお越しを心よりお待ちしております 以上、その他議題（２）の説明とさせていただきます。
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
教育長	特に質問がないようですので、続きまして、（３）第２１回にしお本まつりの開催について、説明をお願いします。
文化財課長	資料７ページ、その他議題（３）資料およびちらしをご覧ください。 にしお本まつりは、平成１８年度から毎年秋に開催している「本のお祭り」です。古典籍の宝庫・岩瀬文庫を１１８年にわたって守ってきた歴史を持つ当市を「本のまち西尾」として広くアピールするため、１０月２７日の「文字・活字文化の日」から直近の土・日の２日間、本をテーマに岩瀬文庫と市立図書館を会場として、多くの市民ボランティアの協力のもと行っています。 今年の開催日は１０月２４日（土曜日）と２５日（日曜日）で、時間は両日とも午前９時から午後５時までです。各催しの詳しい時間や予約方法はお手元に配布しましたチラシやホームページでご確認ください。 今年の主な催しは、西尾市出身の小説家・尾﨑士郎と昨今注目が高まっている小説家・宇野千代についての講演会や少女期を西尾で過ごした詩人・茨木のり子についての講演会、昨年度から創建以来初の大規模な保存修理工事を進めている岩瀬文庫旧書庫と西尾市立図書館おもちゃ館の見学会です。旧書庫とおもちゃ館は、修理工事中の今ならではの姿をご覧になれる貴重な機会です。その他「本」をテーマに

	多彩な催しを企画した、読書の秋にふさわしいお祭りですので、皆さまにも足を運んでいただけましたら幸いです。 以上、その他議題（３）の説明とさせていただきます。
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
教育長	特に質問もないようですので、日程４を終わります。教育委員会名義使用として１６件が提出されております。確認をお願します。
藤井委員	１４ページの「子供向けプログラミング教室　無料体験」ですが、会場がＡＵショップとなっており、参加者がＡＵショップから勧誘などされないか心配に思いましたが、その点はどうですか。
学校教育課主幹	主催者には勧誘など行わないよう確認をしておりますが、会場側には確認をしておりません。その点については、主催者の方に確認してまいります。
藤井委員	広告宣伝費として会場側から主催者にお金が支払われていないかなど、何名目でお金が支払われているかを確認すると、実態が掴みやすいと思います。
学校教育課主幹	確認させていただきたいと思います。
教育長	教育委員会名義使用については以上とさせていただきます。その他としまして、野田委員発言をどうぞ。
野田委員	アントレプレナーシップ事業に関して市長に報告があったということで、学校教育課にお願いをして資料をいただきました。進捗状況を知りたいため、教育委員へも各学校のイベント情報を共有していただきたい。 また、ただの活動報告で終わらせるのではなく、サポートした側の先生方が苦労したことや、プロセス、過程などを記録として残す必要があり、それを今後の活動に生かしていくことが大事だと思います。 学校教育課の考え方や今後の予定などを教えていただきたい。
学校教育課長	今後の予定については、ようやく各学校の具体的な予定が出そろってきましたので、すぐに送らせていただきます。 プロセスだとかその過程の部分はすごく大事で、学校や子どもたちも悩みながら何回もやり直したりして、苦労している様子がうかがえます。もうすでに今の段階で来年も予算がでるのかとか、来年はこうやってみようなどの声も聞こえてきております。 報告書・計画書については、子どもたち自身で全て作成することになっており、教員についてはそのサポートをしてまいります。 今後にいては、後半の残りの事業を進めながら、同時進行で来年度の検討を始め、来年度に向かっていきたいと考えております。
野田委員	この事業の一番の課題は、教員側のマインドセットではないかと思います。教員側が子どもたちを管理するところから、子どもたちを信頼して手放して、試行錯誤するところをどれくらい見守っていけるか、伴走していきながら、教員側も子どもたちと共に学んで成長していくことが大事だと思います。そのためには、子どもたちに報告書を作成させることとセットで、伴走した教員側の報告書も作成するべきだと思います。
学校教育課長	教員側の活動記録の提出は特に求めていませんが、学校側はノウハウとか今年の経験をかなり蓄積しておりますので、来年のバージョンアップをどうしていくのか、来年になってからじゃなく、今年のうちから突き詰めながら一緒に考えていこ

	うと思っております。
教育長	教育委員会としては、結局のところ子どもたちがちゃんと問題解決プロセスを経ていくかどうか、子どもたち自身が問題、課題を見つけて、あるいは夢でもいいんですが、それをどうやって取り組んでいけたかということです。大事なことは子どもを伸ばすことが目的なので、子どもが伸びるためには、そこでどういうハードルがあって、そのハードルを子どもたちにどんなふうに越えさせたかというところと、先生側の方のノウハウがそこで確かめられていくことです。 問題解決学習に対する取り組みは、三河の教育の昭和３２年からのテーマとしてずっとあり積み上げてきていますが、それが多忙化の中でどんどん薄れてきて、先生たちの中になかなか伝承されていかない状況です。今回のアントレプレナー事業がカンフル剤となり、もう一回みんなでしっかり勉強して、それを子どもたちにやらせるには私たちの方がどうやったらいいかということを悩むことになっているということで、まさに価値としては野田委員がおっしゃられたとおりです。 そういう見方で教育委員会としても見ていき、最終的には校長先生たちにそういう問いかけをして、学校の今回のアントレプレナーシップに対する評価について、校長のほうから何らかのリターンをしてもらおうと思っておりました。それをやっていかないと教員側の力がついていかないと思います。 アントレプレナーというのは新しいようで、実は教育実践としては特段新しいわけではなく元々ありましたが、それをやりきれていなかった。今回、全学校３５校みんなやることになり、その経験のないところほど戸惑ったと思います。 花火にしても「花火が上がった」じゃなく、花火を上げるまでに子どもたちがどれくらい苦労したか、どれぐらいの問題を子どもたちが解決し、そこに自分たちでどれくらいアプローチできたかということが大事で、先生たちは手を出さないで、子どもたちに走らせることができたか、すべてがその理屈でできあがっていて、それをどれだけできたかっていうことが、アントレプレナーの価値だということを、多分、初めて幡豆中の先生方は今回実感するのかなということで、すごく楽しみにしています。
野田委員	アントレプレナーシップ事業っていう括りの中だと先生たちが更生してくれますが、最終的に人としてのあり方が問われているのかなと思います。アントレプレナーの時だけではなく、人としてお互いに成長し合いながら学校全体の空気が変わっていくことを期待しています。 今回の学びが一つの起爆剤になってくれるためには、大人の側こそ真摯に学びながら授業を見ていく態度があれば、子どもたちは自ずと学ぶと思います。そういう学んでいく、研究していくっていう態度を私たちが初年度だからこそ大事に、忘れないようにできたらいいなと思います。 それから、学校訪問じゃなくてもぜひ見に行きたいので、よろしくお願いします。
教育長	この他、何か連絡事項はありますか。
観光文化振興課長	本日、お手元にチラシを配付させていただきました。こちらは観光文化振興課による文化振興事業ということで、簡単にご説明させていただきます。 １枚目の「羽ばたきコンサート」は今年初開催のものになります。愛知県にゆかりのある新人とプロによるコンサートで、出演者・演奏曲などは記載のとおりです。 １０月１８日に行われ、入場料は５００円です。まだチケット販売をしておりま

	すので興味がある方はお越しください。 　続きまして、「天童よしみコンサート」です。こちらは１０月２５日開催予定で、まだチケットに余りがありますので、よかったらご覧いただけたらと思います。 　続きまして、「山本眞輔彫刻コレクション展」です。裏面をご覧ください。山本眞輔さんは西尾市の有名な彫刻家で、この方の彫刻を西尾市役所１階多目的ホールで約２０点ほど展示します。１１月２日から１１月７日までで、入場料は無料ですので、よかったらご覧いただけたらと思います。 　続きまして、青色のチラシ、こちらは「見よ、飛行機の高く飛べるを」という演劇です。明治時代の後半、男尊女卑や良妻賢母の抑圧に立ち向かう自立と自由を夢見た女子師範学校の少女たちを描いた演劇になります。こちらは１０月２４日からチケット販売開始になります。 　続きまして、「ゲームミュージックコンサート」です。こちらはドラゴンクエストやファイナルファンタジーなどの音楽コンサートで、２月２７日開催、チケットは１０月２４日から販売開始となります。 　最後は、「桂文珍・春風亭一之輔 東西会」です。こちらは落語になりますが、３月２日開催で、１１月１５日からチケット販売になります。 　説明は以上です。興味のある方はぜひご覧いただきたいと思います。
教育長	以上で本日の日程は、すべて終了いたしました。
教育長	次回は令和８年１１月１１日水曜日 午前１０時００分から、岩瀬文庫 研修ホールで予定されています。ご予定いただきたいと思います。
教育長	これをもちまして西尾市教育委員会１０月定例会を閉会いたします。 　ありがとうございました。